

保育おおさか

No. 457

平成 25 年 9 月 1 日

発行人 永野 治男 編集人 齊藤 和正

大阪市中央区中寺 1 丁目 1-54

TEL.06-6762-9001 FAX.06-6768-2426

http://www.ans.co.jp/u/osakahoiku/

第2回保育士養成校と保育園との研究懇談会

より良い保育のための協働

— 子ども・子育て支援新制度に向けて

8月8日、シエラトン都ホテル大阪で開催された第2回となる懇談会には、保育士養成校から89人、保育園から140人が参加。馬場耕一郎氏(厚生労働省 雇用均等・児童家庭局 保育課 保育指導専門官)と山岡崇浩氏(厚生労働省 近畿厚生局 健康福祉部 指導養成課 主査)からの話題提供とグループディスカッションが行われました。

保育の動向について

馬場氏

現在、待機児童対策が急務である一方で、全国的には約7万人の児童の枠が空いている現状認識も大切としたうえで、子ども・子育て支援新制度について説明。財政面となる消費税アッ



馬場耕一郎氏

プの問題があるが、10%にしても0・7兆円増の2兆円になるが、老人関係の50兆円と比べても低く、実際にはフランス並みの20%程度が必要と指摘。新制度施行後の幼保連携型認定こども園では幼稚園教諭免許・保育士資格を併有した保育教諭が必要である。移行後5年間は片方の資格を有していれば、保育教諭となれる経過措置が設けられます。経過措置期間中、保育士資格のみの者は、3年かつ4,320時間以上の実務経験を有していると、大学

等で8単位の取得のみで幼稚園教諭免許を取ることができません。養成校の先生方にも、卒業生に対して情報提供や資格取得のため、夜間開校や夏休み集中講座・土日開校などが望まれると言及されました。待機児童解消加速化プランの処遇改善は平成26年度も実施の見込みです。

保育の質の一例として、3歳児クラスで20人の児童が在籍している時より、15人である方が、怪我の発生率は何%少ない—保育の世界は数字ではなかなか表すことが難しいが、財務省など他省との折衝でも、具体的な数字やデータを示すことが重要と指摘。アレルギーガイドラインについて、保育所における食物アレルギー対応の基本は「完全除去」「解除」の

両極で対応を進めるべきであり、事故防止の徹底を強調。風疹の問題についても懸念を示されました。(編集委員M・K)

今年度の対象施設は、新規設置や実地調査の間隔が空いた学校から進めていき、年度末まで可能な限り行う予定です。以前は、全体説明会や実地調査を行っていましたが、現在は各校、電話による事前確認後調査を行っています。内容に関しては、定員の充足率や各校での科目履修が的確に行われているかなどを重点的に見ます。

保育士養成校の実地調査の進捗状況について

山岡氏

今後、定期指導調査結果と指導内容を取りまとめ、近畿厚生局のホームページで情報開示を積極的に行っていくとのことでした。(編集委員H・M)

(2面にグループディスカッションの概要掲載)



平成25年3月、とうとうミニディスク(MD)の生産が終了しました。20年も販売されてきたメディアが実にあつげなく終わりを迎えた理由には、後発のiPodなどに代表される次世代メディアの人気の高いことが挙げられるでしょう。実際、街中でMDを見かけることも減り、絶滅状態といえます。今ではスマートフォンで直接音楽を聴くスタイルが殆どなのではないでしょうか。翻って保育業界では、曲順編集などの容易さから、いまだにMDを運動会などで使用されている園が多いように感じます。

世間ではUSBメモリやSDカードでMP3を再生する次世代音響メディアが優勢のようですが、いかんせん「運動会で使用できる音響機器レベルでの普及はまだのようです。幸い、MDディスクの販売は暫く続くようです。今の間はストックするか、それとも次世代メディアに移行するか。頭の痛い選択になりそうです。(編集委員T・N)

(1面より続く)

保育士養成校と保育園との 研究懇談会 デイスカッション

27のグループに分かれて、グループデイスカッションが行われ「養成校と保育園とが連携・協働して取り組めること」について議論を深めました。グループで出した主な意見を紹介します。

〈養成校〉

・就職先を選択する際、保育内容や給与面などではなく、園の雰囲気や人間関係を重視する学生が増えている。

・実習の際に、保育士が子どもや職員に対する口調など些細なことに敏感である。

・成功体験が少なく、自信がなく、不安に思っており、褒められて伸びる学生が増えている。



本音で意見を交わし合う参加者

えている。

・優秀な学生でも叱られると辞めてしまうこともあるので、実習では成功体験ができるようにしてほしい。

・理想像や目標になる実習先での出会いが大切。

〈保育園〉

・文章化されていない、今までに積み上げられてきた独自のルールが多い。新卒の保育士はそれに困惑することが多い。ルールを明確



熱気あふれる会場

化し共通理解できるように組織的にフォローする必要がある。

・就職した後も保育園と養成校が連携し、フォローできるような体制が必要。

・保育園と学生が交流でき

大阪府への予算要望

8月26日、大阪府社協、施設正副部会長会議、市町村社協連合会、民児協連合会の4者連名で「平成26年度大阪府当初予算に対する要望書(全17項目)」を提出。保育部会に関するものは次の2項目です。

- 地域主権改革による市町村への権限移譲後において、これまでの大阪府の指導方針等が市町村に十分に引き継がれ、指導内容に齟齬が生じないようにブロック連絡会等の開催をはじめ一層の連携と指導を図られたい。
- 子ども・子育て支援新制度の総合的かつ計画的な施行に向けて、地域の子育て支援ニーズがバランスよく適切に把握されるよう実施計画の策定にあたっては市町村に対し適正な助言及び指導をされたい。あわせて、保育士等の人材確保については、具体的かつ実効性ある対策を講じられたい。詳細及び府からの回答は次号。

る機会を作り、学生の価値観を知ることでお互いに理解が深くなる。

他にも「お互いに本音で話すことができた」「新たなつながりができた」「お互

いの苦勞を知り、理解が深まった」など懇談会参加者の意見がありました。

「大阪府子ども施策審議会」レポート

これから半年が正念場

—子どもたちの未来のために—

大阪府の地方版子ども・子育て会議である「大阪府子ども施策審議会」が8月5日に開催されました。委員の任期が2年のため、前期からの委員と今年度から新たな委員合わせて20名が決まりました。保育部会からは森田信司副部会長が参画。今後、審議会の開催にあわせ、その内容を掲載いたします。

各市町村においても、ニーズ調査をはじめ、新制度に係るさまざまな取り組みがスタートするこれから半年ぐらいが正念場と考え、子どもたちの未来(計画)を作り上げたいものです。

大阪府の地方版子ども・子育て会議である「大阪府子ども施策審議会」は、大阪府の「子ども・子育て会議」の役割も担っており、今後、「子ども・子育て新制度」の議論もこの審議会や「計画策定部会」で行われます。

「大阪府子ども施策審議会」の新たなメンバーは左記URLで掲載されています。

会議では冒頭、山野則子氏(大阪府立大学地域保健学域教育福祉学類・人間社会学部教授)を会長に選出し、善野八千子氏(奈良文化女子短期大学幼児教育学科学科長・教授)が会長代理に指名されました。

8月7日には第1回の「計画策定部会」が開催さ

http://www.pref.osaka.jp/kosodateshien/shingikai/
(森田信司副部会長)

中

穂積敬愛保育園は、JR茨木駅のすぐ近く、開園2年目になる90人定員の保育園です。

玄関には、からくりボールが転がるモニュメントがあり、子どもたちや保護者にも喜ばれ、町のシンボルのようになっています。

「ありがとう」「ごめんなさい」が素直に言える心を大切にすること、仏の教えに基づいた「心を育てる保育」を大切に実践されています。

一人ひとりの成長を大切にして、押しつけではなく自分の力で気付き行動すること、発達段階にあった活動

動方法を考えておられます。

絵画、造形遊び、リズム遊び、ことば遊び、ハートブレイ（心を揺さぶる遊び）、体育遊び、お習字、スイミング、Eくタイム（英語保育）など、子どもたちが楽しみながら個性を伸ばせる充実した保育活動やプログラム、四季折々の季節を感じる事ができる行事が取り入れられています。

多くある姉妹系列園との交流も頻繁に実施されています。自園だけではなく、たくさん子どもと関わることで、助け合いや競争心が養われ、刺激ある環境が生まれます。

夏祭りなどの行事には、子どもたちに紙芝居を読んでもくれたり、年長組にコマ回しを教えてくれる「お話し

「ありがとう」「ごめんなさい」 素直に言える心を大切に

よい保育はよい環境から 高めていく先生たちの向上心

茨木市

中穂積敬愛保育園



みんなが大好きなお話おじいさん

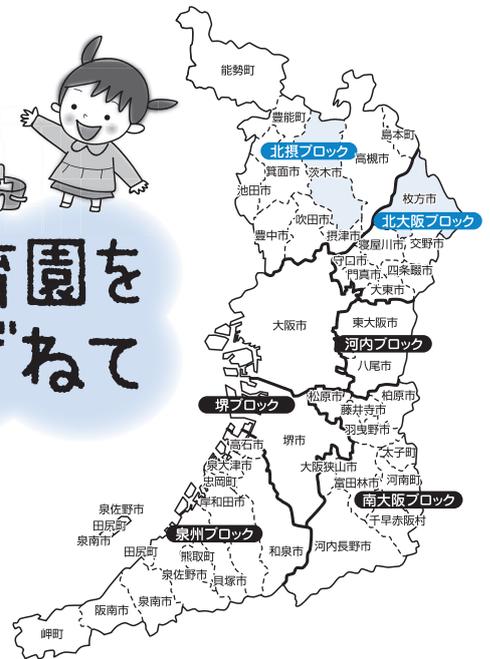
よい保育はよい環境から—夢と創造性のあふれる園舎と清潔な環境、保育士の資質向上に向けた研修の数々：子どもたちの笑顔があふれ、保護者にとって安心できる環境は、常に向上を心掛ける先生方によってつくられていました。

(編集委員 T・N)



保育園を たずねて

477



エイッ! ヤア! トオ!

体力づくりと礼儀作法 スポチャンは大のお気に入り

食材に興味もつ「食キングデー」 四季いつでもあったか給食

枚方市

天の川保育園

京 阪枚方市駅から北へ徒歩十数分、天の川保育園は、定員160人の保育園です。平成元年の区画整理による移転を経て、今年41年目を迎えました。

保育の中で特に面白かったのが「スポーツチャンバラ(以下、スポチャン)」。地域子育て支援事業で、父子参加の「ルールのあるあそび」を企画していた時に生まれたアイデアです。父親参加の活動推進は時代の要請であり大変参考になりました。

また、年2回、食材にふれる機会、食(触)キングデーを設け、野菜の育成や栄養のお話をして食材自体に興味をもってもらう食育の取り組みも実施。食育担当者は大忙しです。



食ing day「おだし」をみんなで味比べ

園児と職員合わせ200食前後の調理をするには、このような配慮は重要だと思います。(編集委員 J・H)

からだ動かす楽しさ経験する 動のスペース・静のスペース

家庭の温かさを大切にした食育
一つひとつの自信を意欲につなげる

堺市

鳳西保育園

「色々な経験を通して、さまざまなおもちゃに興味を持ち、一つひとつの自信がこ



園舎



第2園舎2階 運動スペース

「仲間とともに生き生きと活動する子」を柱に、「自

平成24年7月に第2園舎を建築。2階には、運動できる「動のスペース」と「静のスペース」があります。幼児期に経験しておきたい36種類の基本的な動きのほとんどが経験できる設計となっています。からだを動かす楽しさを子どもたちは体験から学ぶことができます。「仲間とともに生き生きと活動する子」を柱に、「自

日本人としての心、伝統的な作法に触れることができるよう茶道も保育に取り入れています。普段とは違う雰囲気の中、気持ちを落ち着かせ、集中して取り組む姿が見られます。

「色々な経験を通して、さまざまなおもちゃに興味を持ち、一つひとつの自信がこ

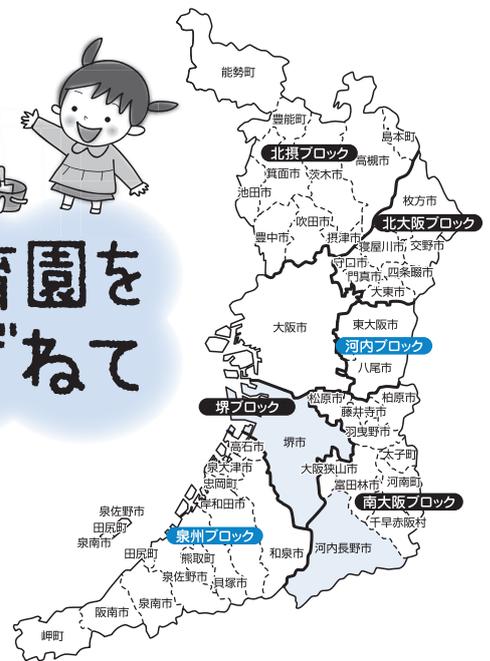
れからの人生において他の自信につなげていき、生きる意欲になればと思っております。いつも笑いの絶えない、笑顔でつくる保育園を目指しています」と、高槻良平園長は仰いました。

(編集委員K・K)



保育園をたずねて

478



現在の園長の石川桂子先生は「保育園を家庭に近い環境にしてあげたい」との思いから、コーナー保育を取り入れられています。保育室の間取りが広いため、寝食分離はもちろんの

み

のり学園南嶺保育園の前身は大正年間に戻ります。寺の住職であった和田達源大僧正が「みのり子供園」を大阪市で創設。戦災を経て、河内長野市に移りました。周囲の緑豊かな森林は府立花の文化園へと続く素敵なお散歩コース。

朝は毎日、体操とかけっこから始まります。裸足で園庭を駆けまわると、竹馬をする子、鉄棒をする子どもたちの主体性に任せて体力を養います。地域子育て支援にも積極的に取り組まれています。「親子で遊ぼう教室」は毎週木曜日、常時30組近い親子が参加され定員いっぱい。特に乳幼児の食事作りは、栄養士や調理師が保育士と一体となって実践アドバイザー。その場で食べるなど、食育に力をいれておられます。毎月の給食メニューのレシピも提供。お母さんたちに大変好評です。



緑豊かな環境の中に保育園があります

家庭に近い環境づくり 自主的に遊び動けるコーナー保育

保育園・家庭・地域が一体
「親子で遊ぼう教室」は大人気

河内長野市

南嶺保育園



絵本コーナー

また、地域の子どもたちの身体測定も実施されています。個別に記録し、お母さんとの健康相談の機会も設けています。保育園・家庭・地域が一体となった南嶺保育園でした。(編集委員N・M)

北大阪

「社会人のテーブルマナー」研修会

7月30日、帝国ホテルのエンパイアルームで大阪府保育部会、北大阪ブロック会主催の研修会に164人が参加しました。講師の山下豊充氏（帝国ホテル宴会サービス支配人）がスライドを見せながら主にエチ

ケットとマナーの違いについて説明。エチケットは、形式を知った上での礼儀。マナーは、相手に対しての心遣い。今から会う人に対して失礼がないか、部屋に入る前に化粧室で身だしなみをチェック、自分の今回の立場をきちんと理解し、異文化の尊重、序列の重要性、右方上位、返礼、レディーファーストなど、相手や周りの人のことを考えて最善

の行動を心掛けることの重要性が理解できました。食事を楽しく周りの人に不快な思いをさせないのがテーブルマナーであり、国際感覚を養い世界に通用するエチケットを身に付けるための心得。しかし一番大切なのは和やかで楽しい雰囲気づくり、相手の気持ちを考え人間関係の潤滑油としてエチケットを知り、マナーを身に付けていくことが最も大切ということでした。他人への配慮、心遣いなど日常生活はもちろん、



テーブルマナー実践中

南大阪

「幼児のための鍵盤ハーモニカ」など

石川保育園（南河内郡河南町）で音楽研修を開催。山地寛和先生（NPO法人生涯音楽アカデミー理事）による「幼児のための鍵盤ハーモニカ指導法」と「楽器遊びと合奏指導法」の2部構成の研修でした。実践を交えた楽しい内容で、あっとい間3時間。

「音楽って楽しい!」「やりたい!」と子どもたちが思えるように、先生が「しなさい」ではなく、子どもたちに問いかけ、一緒に音楽を楽しむことが大切だということ学びました。以下は研修の内容。
 へお返事ゲームピアノの音の高さで「○○組さん」と呼ばれて「はーい」と返事をする。聴いた音を声に出すことができるか、音階の練習になる。
 へホースで運動会へスポンジボールを鍵盤ハーモニカのパイプで吹いて転がし、ゴールに入れるゲーム。楽しみながら吹くことを知る。
 へ小さな発表会発表会となる子どもたちは緊張するので、日頃の練習から4〜5人が前に出て演奏することで、前に出る緊張感に慣れる。
 へピアノが上達する方法どこに何の音があるかが分かれると早く上達する。なるべく鍵盤は見ないで弾くことが良い。
 その他、楽器を大切に扱う気持ちをどのように意識させるか。人間と違って絆創膏をはって治るものではないといった解りやすい表現をするかについて学びました。（高屋保育園S・T）

旬

防災の日、台風の厄日・二百十日

実を伸ばす六尺へチマ。運動会へ力が入る

1923（大正12）年9月1日、相模湾を震源とするマグニチュード7.9の大規模な地震。被災者14万人超の「関東大震災」を教訓として、昭和35年9月1日を「防災の日」と制定。台風の厄日・二百十日と重なる。暑い付けなあかん旬、暑さ寒さも彼岸まで。あともう一息、頑張りまひよ。

は回答が届くものと期待。その昔、堺市が中核市になった際、私共の申し入れを「あんたらとは話をする立場にない!」と言いつつ放った人がいた。今、北大阪の皆さん中心の海外研修でパリへ。昭和40年代後

全国研修会で、調査研究委員会制作のビデオ『SIDSってなに?』が「大阪府保育協議会が自費作成」として紹介・放映された。懐かしさとともにまだまだ使えるとの関川芳孝先生（大阪府立大学）の評価に二

次策。「売ったらどうですか? 事故を事前に防ぐ素晴らしい内容!」と関川先生。調研の皆さん、頑張りな。六尺へチマが実をどんどん伸ばしている。今月に実を着けたのは摘む。よほど肥料を続けてやらないとモノにならない。一尺以内は皮を剥いて炒めモノにして食べられる。私は食べたことありませんが(笑)。

半の保育士不足の引き止め策の一つとして始まったこの研修、40年ほど続いている。今回は行先・時期も担当ブロックの意見を尊重。パリは店が開いてるかが気がかり。夏に長い休暇を取るフランスやから...

秋は運動会の練習に力が入る。熱心過ぎると登園を嫌がる園児もいて、担当保育士も頭が痛い。鉄棒逆上がりで5歳の子もたちにとつては大きな障壁。巧くクリアする指導法を数年前に副園長が編み出した! (H・N)



練習に熱心な参加者